

タイトル	4 . ポキャブラリーを増やす
------	-----------------

ねらい 成果	類義語・対義語・上位語・下位語などの言葉の体系を理解し、自分の持っている言葉を整理し、増やしていく。ワークでは、チームで言葉を連想してつなげ、互いの言語感覚を刺激し合う。
-----------	---

	時間	ねらい / 目標	活動内容 / 問い プリント 形態 手法
1	05	前回のふりかえりをする。	プリント 『voice』 (1)出席を取る。 (2)前回のワークをふりかえる。 ・初めてのメンバーとでも話ができ、問題解決ができたことを評価する。
2	10	言葉を連想する。	形態 全員 (1)全員で、「春」から初めて、連想する言葉を、席順に言わせ、板書していく。 (2)スタートの言葉を生徒から募集してもう一度する。 板書したものは後で使う。 手法 連想法
3	10	言葉の体系を講義で理解する。	プリント 『言葉のネットワークを知る』 (1)類義語は、同位語の中で意味の似ているもの。 ・「椅子」の類義語は。チェアー、腰掛け (2)対義語は、同位語の中で反対の意味のもの。 ・「椅子」の反対は。机。 (3)上位語は、意味の広いまとまったものを表す言葉。 ・「椅子」は何の種類かを考える。家具 (4)同位語は、同じレベルやジャンルの言葉。同じ上位語を持つ言葉。 ・「家具」には他にどんなものがあるか。ベッド、タンス、本棚、食器棚 ⑤下位語は、意味の狭い具体的なものを表す言葉。

			・「椅子」の種類を考える。長椅子、ベンチ、安楽椅子
4	25	言葉の体系の問題をして、具体的に理解する。	<p>(1)上位語・同位語・下位語の問題を解答する。</p> <p>①（あいさつ）→（おはよう・さよなら・ただいま・やあ）</p> <p>②（家事）→（炊事・洗濯・掃除・裁縫）</p> <p>③（犯罪）→（泥棒・すり・放火・殺人）</p> <p>④（職業）→（泥棒・すり・教師・八百屋）</p> <p>下位語の組み合わせで上位語が変わる。</p> <p>⑤文字 →（漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字）</p> <p>⑥芸術 →（美術・音楽・文学・演劇・映画）</p> <p>音楽 →（クラシック・ロック・フォーク・ジャズ）</p> <p>「芸術」の下位語である「音楽」にさらに下位語がある。</p> <p>⑦東稜高校には、どんなクラブがありますか。3つ挙げてください</p> <p>・はい、（野球）部、（サッカー）部（剣道）部などがあります</p> <p>⑧私は、ケーキや、チョコレートや、あんみつや、おまんじゅうが好きです</p> <p>・それじゃ、あなたは（甘いもの）が好きなんですね</p> <p>(2)対義語の問題を解答する。</p> <p>①信じる（疑う）②鋭い（鈍い）③はっきり（ぼんやり）</p> <p>④原則（例外）⑤権利（義務）⑥時間（空間）</p> <p>⑦消費（生産）⑧理想（現実）</p> <p>単語レベルで知識として問う。</p> <p>⑨問題は結果ではなく（原因）だ。</p> <p>⑩理性ではなく（感性）に訴えるべきだ。</p> <p>文脈の中で、意義を問う。</p> <p>(3)類義語の問題を解答する。</p> <p>①楽しい（うれしい、うきうきする）</p> <p>②原因（理由・根拠、論拠）</p> <p>単語レベル</p> <p>③速さ（速度、スピード）</p> <p>④便所（お手洗い、トイレ、化粧室）</p> <p>語種の問題</p> <p>⑤あした（あす）⑥医者（医師）⑦ガキ（子ども）⑧ずらかる</p>

			<p>(逃げる)</p> <p>文体の問題。</p> <p>⑨川の水は寒かった。→(冷たかった)</p> <p>⑩して良いことと悪いことぐらい差別しなさい。→(区別)</p> <p>微妙なニュアンスによる間違い</p> <p>⑪リンゴの皮を(むく)。</p> <p>【無理なく本体の一部を分離して中身を出す】</p> <p>⑫シールを(はがす)。</p> <p>【多少無理に本体についているものを分離する】</p> <p>⑬頭の皮を(はぐ)。</p> <p>【無理に本体の一部を分離する】</p> <p>⑭本のページを(めくる)。</p> <p>【無理なく回転運動で分離する】</p> <p>微妙なニュアンス</p>
5	10	2で連想した言葉の関係を考える。	(1)板書した言葉が、類義語、対義語、上位語、下位語、関連語のどれになっているかを、考える。
6	35	グループで言葉を意識的に繋げていく。	<p>形態 4人組</p> <p>プリント 『言葉を連想してつなげる』</p> <p>(1)記号を説明する。</p> <p>(2)例を説明する。</p> <p>(3)プロッキーを1人1色と模造紙を配布する。</p> <p>(4)スタートの語を決めさせる。</p> <p>(5)記号を使いながら言葉のツリーを広げていく。</p> <p>(6)各グループ1分ずつで前に出て発表する。</p>
7	05	本時をふりかえる。	<p>プリント 『ふりかえりシート』</p> <p>(1)本時のふりかえりを書かせる。</p> <p>半分以上書くこと。</p>

準備	『言葉のネットワークを知る』『言葉を連想してつなげる』、プロッキー(人数分)、模造紙(6枚)
----	--

Voice

4. ボキャブラリーを増やす

5月19日

生徒の満足度

満足度	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
人数	8	3	3	4	4	1	0	0	0	0

生徒の感想

①一つの言葉にたくさんのつながりがあって面白かった。②関連語ばかりになってしまった。③言葉の関連を見つけるのが難しかった。④みんなと協力して言葉を連想するのは楽しかった。⑤連想するといくらでも出てきて面白い。⑥広がったような気がしたけど、そうでもない。⑦「沖縄」に広げて、最終的に「山田親太郎」に行ったら「しんせん組リアン」に行ったらうれしかった。さらに「しんせん組リアン」が「京都」につながって奇跡だと思った。⑧類義語とか対義語とか考えるのは難しかった。でも、みんな自分では思いつかないことを言ってくれてすごいと思った。⑨思いつかなかったのが他の人が言って、どんどんできたりしてすごいと思った。⑩一つの言葉からいろいろな言葉をつなげて行ったらどこまでも広がっていくし、面白いなと思った。⑪他の班の人の発表を聞くのも面白かった。⑫人によって考え方が全然違うってすごいと思った。喋ったことのない人と喋れて楽しかった。⑬自分が思うより、すぐ出てくる言葉が少ないと思った。模造紙にきれいにまとめて書かれている班があって驚いた。⑭授業が進む度に面白い。ほんとうに為になる授業。いろいろな人と仲良くなって楽しかった。⑮今日は難しかった。国語力がある授業だなと思った。今回もなかなか喋ったことのない人と話せたし良かったです。⑯表現って難しいというか、日本語は難しい。でも、一つの言葉から全然関係のない言葉が出てくるって思うと言葉ってすごいと思う。⑰無意識に使っている言葉にも何かしら関連していると思った。

教師の感想

今回は国語表現にふさわしい授業。コミュニケーションの基本は言葉を豊かにすること。そのためには普段何気なく使っている言葉の体系を知って、言葉を増やすことが必要。講義にすると退屈になるところだが、グループで相談して解答させて、教師が教えるのではなく、衆知を集める大切さも体験してもらおうと思った。生徒は互いにほめ合いながらいい感じで解答してくれた。楽しみながら、言葉の難しさ、大切さ、面白さを味わってくれたと思う。ただ、浅く広くしかできないのが、少し物足りなかった。これ契機に、言葉に興味を持って、もっと探求してくれれば素晴らしい。